

プレス発表資料

平成22年 3月 2日

独立行政法人防災科学技術研究所

「降雪ワークショップ」並びに「積雪ワークショップ」 を開催

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長：岡田義光)は、雪氷災害の発生予測精度向上のために、降雪および積雪のそれぞれに関して、関係する研究者を招集し最新の研究成果について討議するワークショップを下記の各日程で開催いたします。

「降雪ワークショップ」

3月4日午後から3月5日午前 雪氷防災研究センター 2F 大会議室

「積雪ワークショップ」

3月19日午前9時～午後5時半 パストラル長岡 5F 末広の間

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会
長岡市記者会、長岡地域記者会

【内容に関するお問合せ】

(開催地：新潟県長岡市)

独立行政法人 防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター

中井専人(降雪ワークショップ)

山口 悟(積雪ワークショップ)

TEL：0258-35-7520

FAX：0258-35-0020

【連絡先】

独立行政法人 防災科学技術研究所
企画部 広報普及課 佐竹、山科

TEL：029-863-7783

FAX：029-851-1622

「降雪ワークショップ」並びに「積雪ワークショップ」 を開催

降雪ワークショップ

主催：防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター、

1. 日時：平成 22 年 3 月 4 日(木) 13:00-17:10
3 月 5 日(金) 9:00-12:00
2. 場所：雪氷防災研究センター 2F 大会議室
(新潟県長岡市栖吉町前山 187-16)
3. 内容：降雪に関する観測や理論、数値モデルに関する最新の研究成果の紹介

積雪ワークショップ

主催：(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

共催： 日本雪氷学会北信越支部

1. 日時：平成 22 年 3 月 19 日(金) 9:00-17:30
2. 場所：パストラル長岡 5F 末広の間
(新潟県長岡市今朝白 2 丁目 7 番 25 号)
3. 内容：積雪に関する観測や実験、理論に関する最新の研究成果の紹介

【補足資料】

降雪ワークショップ

正式名称： ワークショップ「降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究
(第8回)」

主催： 防災科学技術研究所

日時： 2010年3月4日(木)ー5日(金)

場所： 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 大会議室
(新潟県長岡市)

趣旨： メソ気象学の王道にかえて、気流系の発達と降雪粒子の成長が一つのシステムの盛衰として推移することを頭に置いて、詳細な解析、モデリング、統計的特徴などについて最新の内容を議論、理解したい。

プログラム

2010年3月4日(木)

13:00ー 受付

13:30ー13:40 あいさつ、事務連絡

13:40ー14:10 加藤輝之(気象庁気象研究所)

雲解像モデルによる降雪予測

14:10ー14:40 岡本宏樹(名古屋大学 地球水循環研究センター)

西風卓越時において北陸沿岸部に停滞する線状

降雪帯の形成・維持メカニズム

14:40ー15:10 柳瀬 亘(東京大学海洋研究所)

ポーラーロウの数値シミュレーション

15:10ー15:30 休憩

15:30ー16:00 古市 豊(気象庁予報部数値予報課)

気象庁における降雪量ガイダンス

16:00ー16:30 荒木健太郎(気象庁新潟地方气象台)

新潟県降雪量予報について

16:30ー17:00 本吉弘岐(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

雪氷災害発生予測システムにおける非静力学モデルによる地

上気象要素の予測とその利用について

17:00ー17:10 事務連絡

2010年3月5日(金)

09:00-09:30 猪上華子(気象庁気象研究所)

庄内平野で観測された突風をもたらす気象擾乱

09:30-10:00 中井専人(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

長岡で観測されたレーダー降雪分布と卓越降雪
粒子の変動

10:00-10:30 篠田太郎(名古屋大学 地球水循環研究センター)

地上観測データを用いた雲解像モデル CReSS に
おける雪と霰の割合の検証

10:30-10:40 休憩

10:40-11:10 橋本明弘(気象庁気象研究所)

4-ICE バルク法微物理過程の開発

11:10-11:40 三隅良平(防災科学技術研究所水・土砂防災研究部)

多次元ビン法モデルによる雪雲のシミュレ
ーション

11:40-12:00 総合討論

積雪ワークショップ

正式名称： 積雪の構造と変質に関するワークショップ

主催： 防災科学技術研究所

共催： 日本雪氷学会北信越支部

日時： 2010年3月19日(金) 9:30-17:30

場所： パストラル長岡 5F 末広の間

(新潟県長岡市今朝白2丁目7番25号)

趣旨： 積雪に関する観測や実験、理論を研究している研究者間の情報交換を通じ、積雪の構造や積雪中の水の移動の研究、またそれらを記述するモデル等に関して、研究の現状と今後の推進すべき方向について議論する。

プログラム

9:00： 受付開始

9:30： 開会の挨拶 雪氷防災研究センター長 佐藤篤司

午前の部

09:40-10:10 荒川 逸人（野外科学株式会社）

積雪の通気度に関する研究

10:10-10:40 尾関 俊浩（北海道教育大学）

雪氷のNMRイメージングー積雪内の水の可視化ー

10:40-11:00 休憩

11:00-11:30 渡辺 晋生（三重大学）

土壌の分野における不飽和透水係数のモデル化に関する研究

11:30-12:00 山口 悟（防災科学技術研究所）

積雪内の水の移動に関する研究

12:00-13:30 昼休み

午後の部

13:30-14:00 青木 輝夫（気象庁気象研究所）

気候モデリングのための積雪変態・アルベドモデル

14:00-14:30 兒玉 裕二（北海道大学）

既存積雪モデルの比較

14:30-14:50 休憩

14:50-15:30 Michael Lehning (Institute for Snow and Avalanche Research)

- Progress in measuring and modeling Alpine snow
dynamics at SLF Davos
- 15:30–16:10 Edward E. Adams (Montana State University)
Development and importance of near surface snow
microstructure
- 16:10–16:30 休憩
- 記念講演
- 16:30–17:30 佐藤 篤司（防災科学技術研究所）
雪粒子から雪害さらに地球環境研究を試みて